

小 バド交流試合 中高生が対決!!

7月28日(水)、町総合体育館においてバドミントン交流試合が開催され、大崎小学校のクラブチーム、大崎中学校のバドミントン部、尚志館高校のバドミントン部が参加しました。

新型コロナウイルスの影響で大会が減少し、練習の成果を試そうと、ダブルスやシングルス戦が行われました。特に、小学生はデビュー戦となり、先輩のプレーから学んだり教わったりする姿も見られました。

参加者は「緊張して手が震える。難しいけど楽しい」と、応援に来ていた保護者は「良い経験になったと思う。試合の雰囲気を感じてあげたかったから、ありがたい」と話されました。

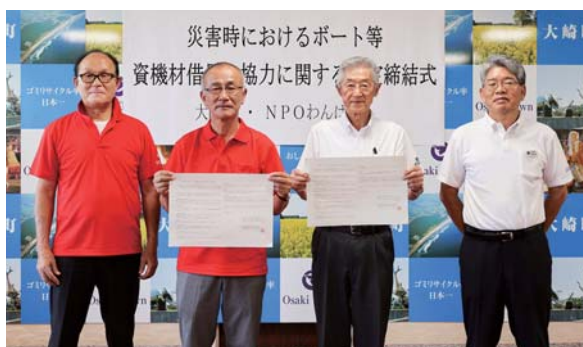


災 迅速な救助活動を期待 害時の協力協定を締結

特定非営利活動法人NPOわんぱーくとの「災害時におけるボート等資機材借用の協力に関する協定」締結式が、8月3日(火)に行われました。

同団体はB&G海洋クラブを持ち、シーカヤックや救命胴衣などを多数所有しています。昨年の「令和2年7月豪雨災害」で三文字地区が冠水した際に、消防団がボートで住民を救助した事例もあり、今回の協定を結ぶことになりました。

新宮邦久くにひさ代表理事は「町と歩みを一緒にしながら町民の皆さまのお役に立てれば幸い」と話されました。



町 大崎町の取り組みって？ 長との意見交換会

8月2日(月)、町社会福祉協議会において、町老人クラブ連合会と町長との意見交換会が開かれ、町老連会長や理事など役員24名が参加しました。

東町長は町が取り組んでいる施策などを、映像を使い説明しました。その後、参加者との活発な意見交換がなされました。

また8月8日(日)には、三文字サロン「春が来た」で町長講話や意見交換会が開かれました。

それぞれの意見交換で頂いた貴重なご意見・ご要望などは、今後の町政運営の参考にさせていただきます。

